

**2025年3月期 第4四半期  
四半期 参考資料**

---

# 参考資料. 売上高・利益 (3か月情報)



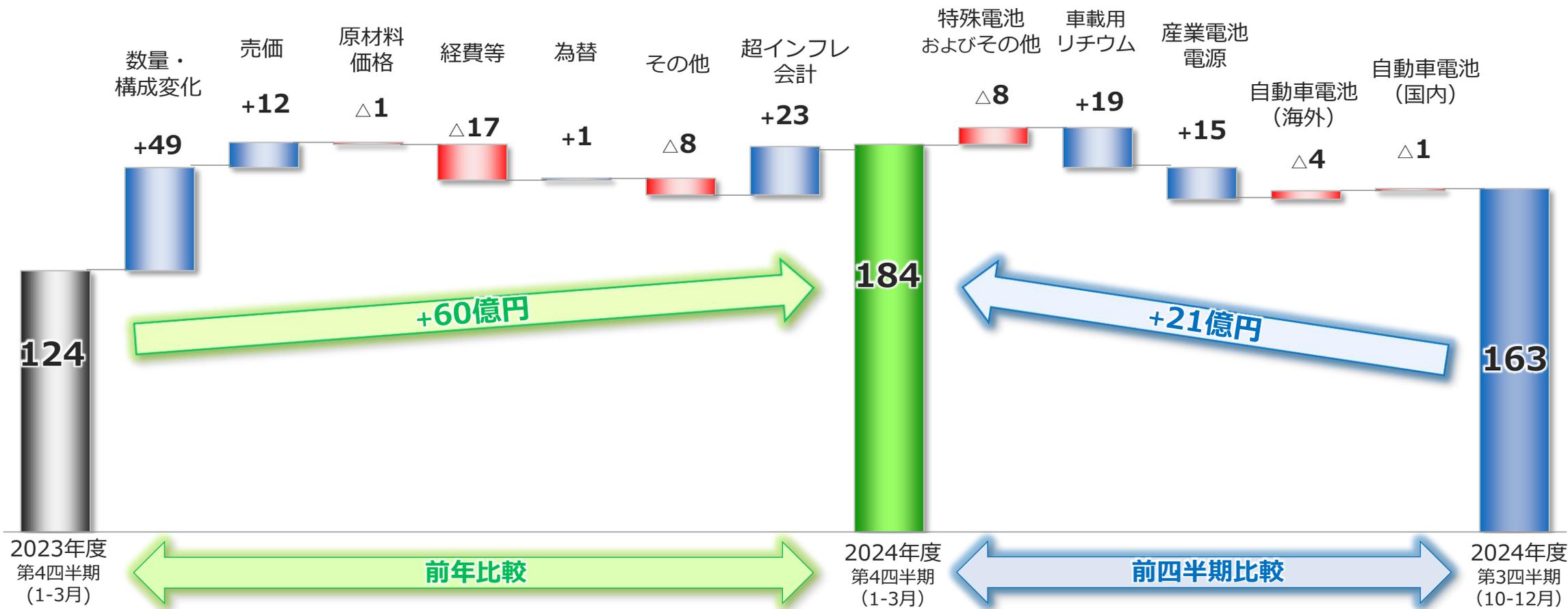
(億円)

[参考] 前四半期情報

	2023 年度 第4四半期 (1-3月)		2024 年度 第4四半期 (1-3月) (A)		増減		(前期比)		2024年度 第3四半期 (10-12月) (B)		増減 ((A)-(B))	
売上高	1,513		<b>1,535</b>		+22		(+1.5%)		1,623		△88	
売上総利益	331		<b>399</b>		+68				395		+4	
営業利益 (利益率)	122	8.1%	<b>183</b>	<b>11.9%</b>	+61	+3.8P	(+49.4%)		161	9.9%	+22	+2.0P
のれん等償却前営業利益 (利益率)	124	8.2%	<b>184</b>	<b>12.0%</b>	+60	+3.8P			163	10.0%	+21	+2.0P
営業外収益	41		<b>12</b>		△29				16		△4	
営業外費用	13		<b>18</b>		+5				34		△16	
うち持分法による投資損益 (△は損失)	2		<b>3</b>		+1				1		+2	
経常利益	150	9.9%	<b>176</b>	<b>11.5%</b>	+26	+1.6P	(+17.3%)		142	8.8%	+34	+2.7P
特別利益	7		<b>60</b>		+53				10		+50	
特別損失	17		<b>59</b>		+42				3		+56	
税前三半期純利益	140		<b>177</b>		+37				149		+28	
法人税等	△14		<b>47</b>		+61				50		△3	
非支配株主 四半期純利益	11		<b>9</b>		△2				9		+0	
親会社株主 四半期純利益 (利益率)	143	9.5%	<b>120</b>	<b>7.8%</b>	△23	△1.7P	(△16.1%)		90	5.5%	+30	+2.3P
のれん等償却前親会社株主 四半期純利益 (利益率)	146	9.6%	<b>122</b>	<b>7.9%</b>	△24	△1.7P			92	5.7%	+30	+2.2P
CF計算書 関係	減価償却費 (のれん除く無形固定資産含む)	60	<b>61</b>		+1				71		△10	
	のれん償却費	1	<b>1</b>		△0				1		△0	
相場情報	国内鉛建値 (万円/t)	37.51 万円/t	<b>36.50 万円/t</b>		△1.01 万円/t				36.88 万円/t		△0.38 万円/t	
	LME (US\$/t)	2,076 US\$/t	<b>1,970 US\$/t</b>		△106 US\$/t				2,006 US\$/t		△36 US\$/t	
	為替 (円/US\$)	149.88 円/US\$	<b>151.21 円/US\$</b>		+1.33 円/US\$				154.19 円/US\$		△2.98 円/US\$	

## 営業利益増減要因 (前年・前四半期比較)

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)



(億円)

		2023 年度 第4四半期 (1-3月)		2024 年度 第4四半期 (1-3月) (A)		増減		[参考] 前四半期情報			
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	2024年度 第3四半期 (10-12月) (B)		増減 ((A)-(B))	
								売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)
自動車 電池	国内	252	29 (11.4)	<b>288</b>	<b>36</b> (12.6)	+36	+7 (+1.2)	296	37 (12.5)	△8	△1 (+0.1)
	海外	622	18 (2.8)	<b>608</b>	<b>45</b> (7.3)	△14	+27 (+4.5)	718	49 (6.8)	△110	△4 (+0.5)
産業電池電源		359	67 (18.8)	<b>360</b>	<b>77</b> (21.4)	+1	+10 (+2.6)	310	62 (20.1)	+50	+15 (+1.3)
車載用 リチウムイオン電池		218	2 (1.0)	<b>224</b>	<b>25</b> (11.4)	+6	+23 (+10.4)	241	6 (2.5)	△17	+19 (+8.9)
特殊電池およびその他		62	8 (13.7)	<b>57</b>	<b>1</b> (1.6)	△5	△7 (△12.1)	58	9 (15.0)	△1	△8 (△13.4)
合計		1,513	124 (8.2)	<b>1,535</b>	<b>184</b> (12.0)	+22	+60 (+3.8)	1,623	163 (10.0)	△88	+21 (+2.0)

## 24年度 第4四半期 (1-3月) 実績

- 国内自動車生産は新車メーカーの操業停止からの生産回復が進んだことで、前年対比で増加
- LMEは安値で推移しており、国内鉛建値についても円安の影響はあるものの前年対比では安値で推移
- 為替は前年対比では若干の円安基調

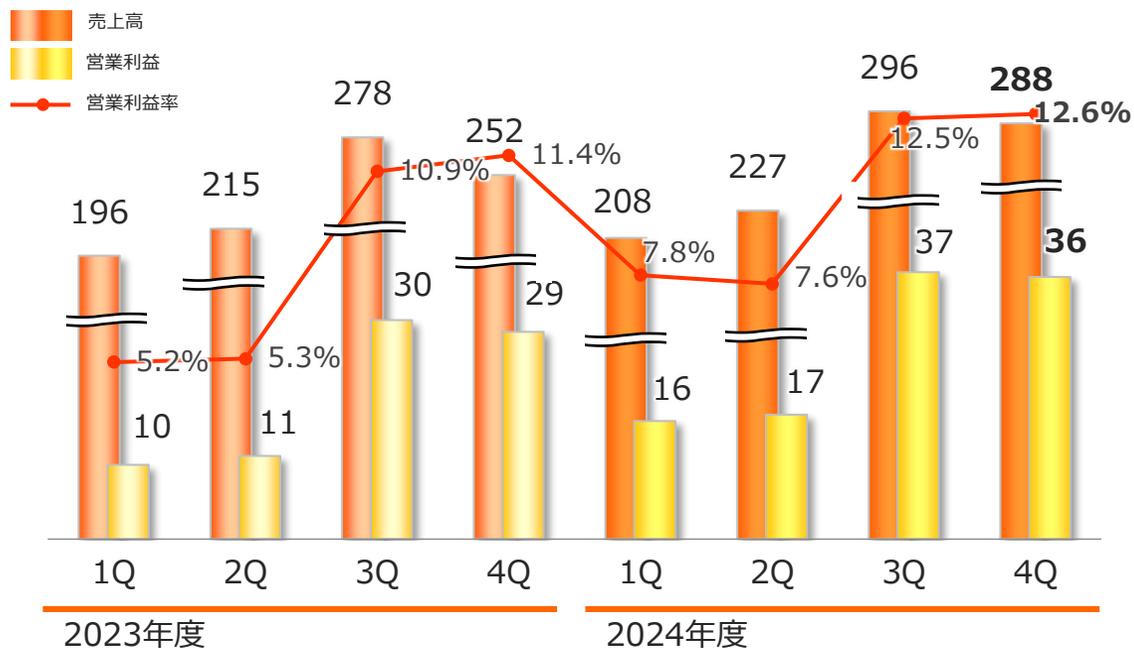
(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

# 参考資料. セグメント別業績 (自動車電池 (国内) / 3か月情報)

## 自動車電池 (国内)

## 増収増益

売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)

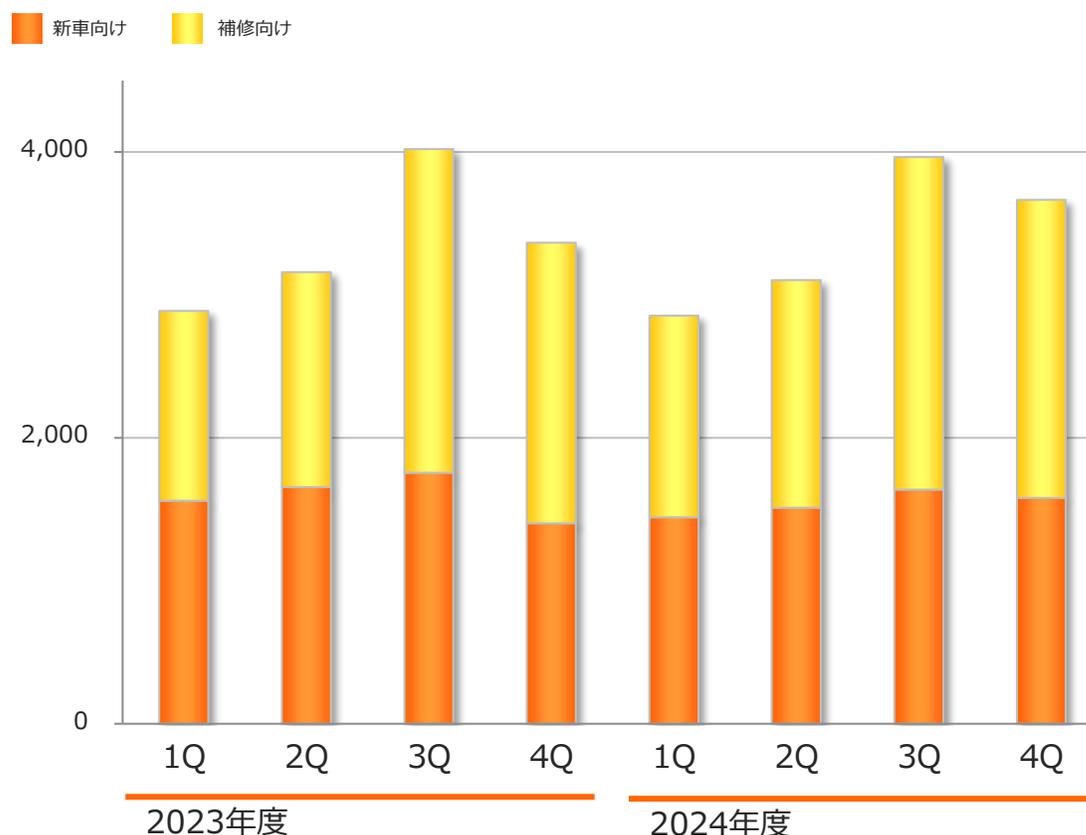


### 増減益要因 (前年比: 1-3月)

数量・構成変化	+8	新車向け、補修向けともに数量増
売価	+9	売価見直しにより増加
原材料価格	△3	円安・インフレによる原材料価格の上昇
経費等	△7	数量増に伴う経費の増加

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

新車向け・補修向けの出荷数量推移 (千個)



### 前四半期からの変化点

- 新車向けは新車メーカーの操業停止影響により販売数量は減少
- 補修向けは季節要因により販売数量は減少

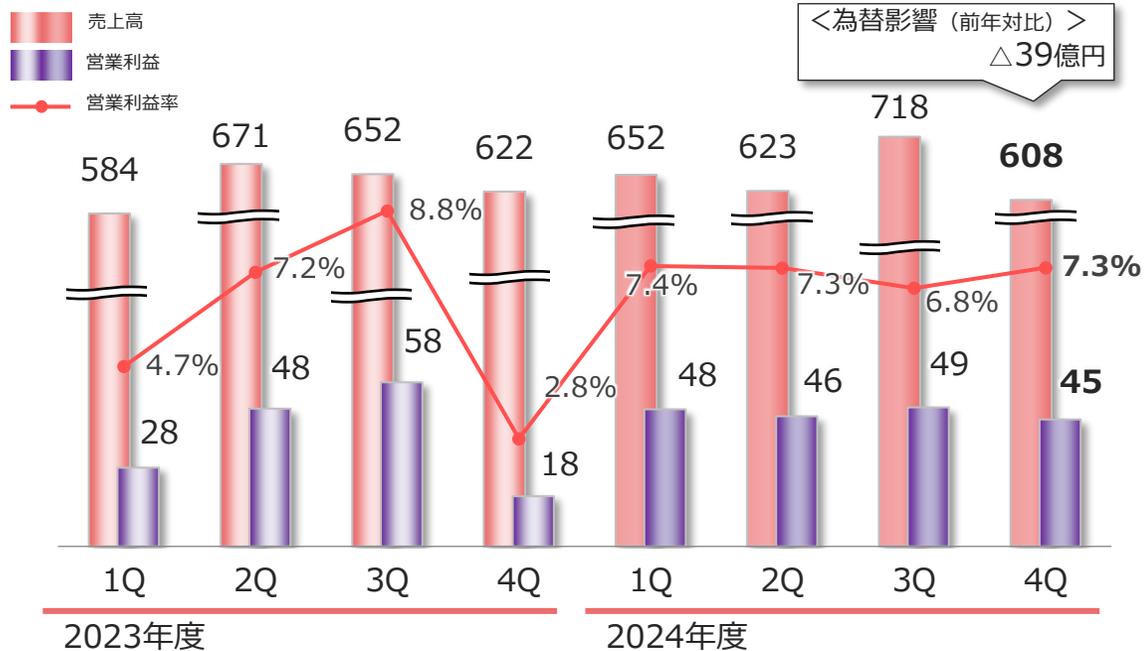
# 参考資料. セグメント別業績 (自動車電池 (海外) / 3か月情報)

## 自動車電池 (海外)

## 減収増益

売上高・営業利益・利益率 (3か月)

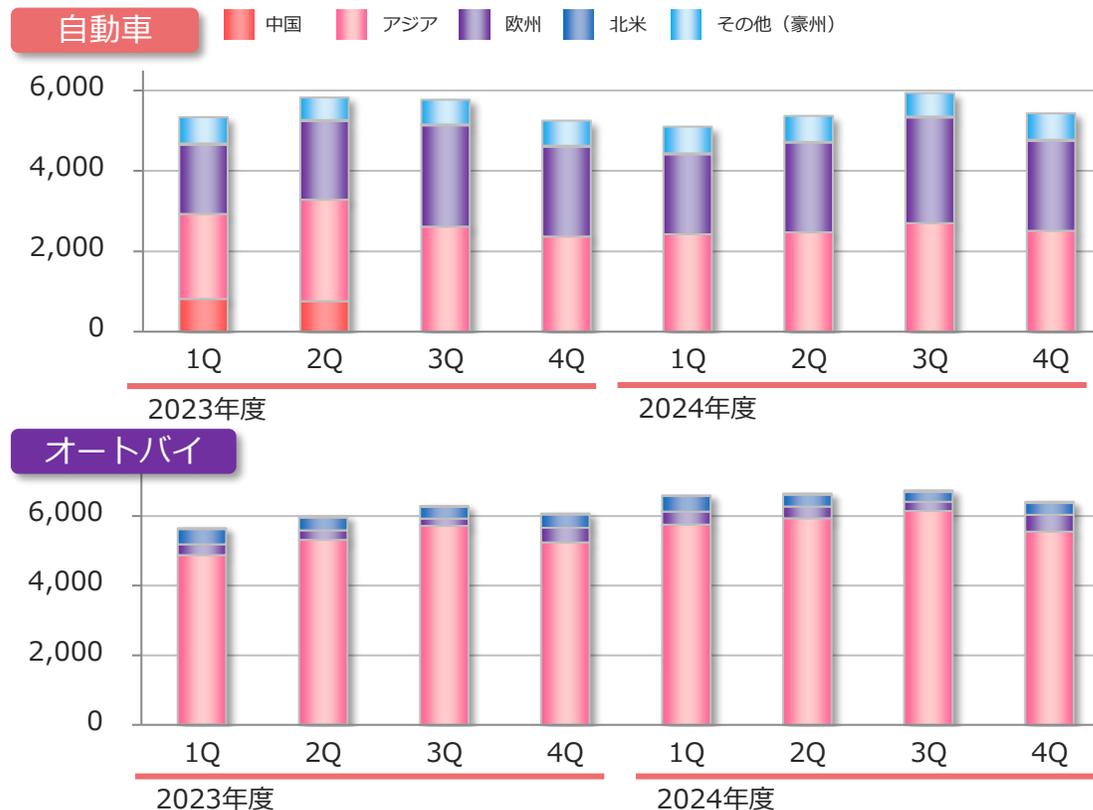
(億円)



### 増減益要因 (前年比: 1-3月)

数量・構成変化	+17	戦略拠点を中心に数量増加
売価	+9	コスト上昇の売価反映により増加
原材料価格	△0	
経費等	△22	インフレ影響による経費増加
為替	+1	
超インフレ会計	+23	昨年4Qに一年分一括適用のため

## 地域別自動車・オートバイ用出荷数量推移 (千個)



- 前半期からの変化点
- ▶ 東南アジア・欧州は季節要因もあり若干販売数量が減少
  - ▶ LME価格の下落、円高影響もあり売上高は減少

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

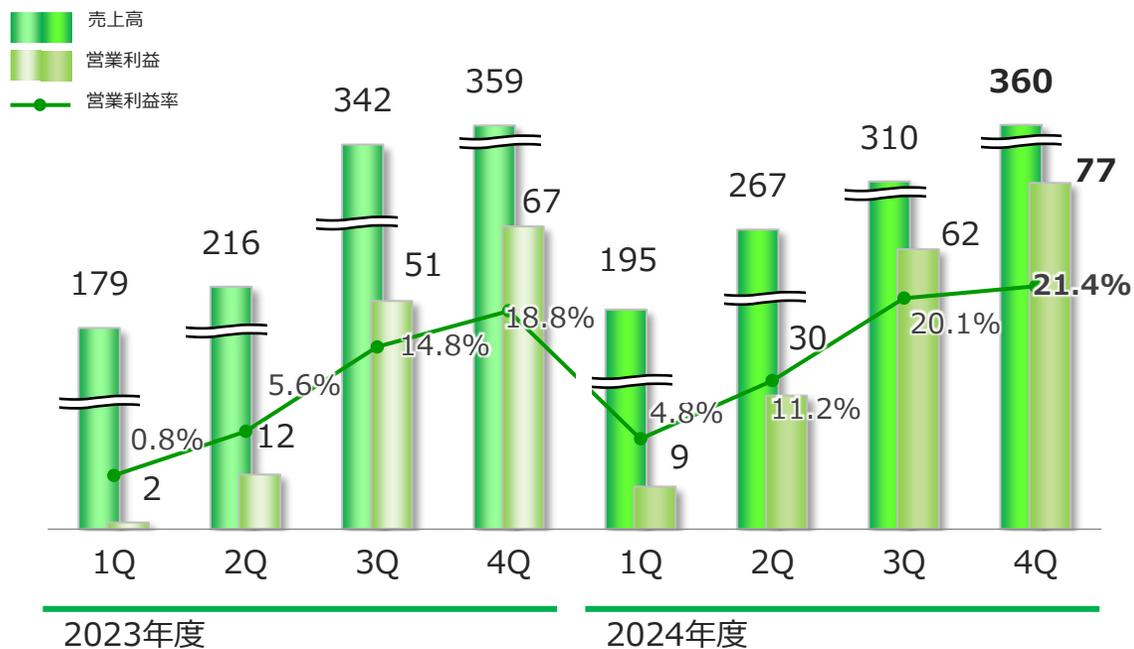
# 参考資料. セグメント別業績 (産業電池電源 / 3か月情報)

## 産業電池電源

## 増収増益

売上高・営業利益・利益率 (3か月)

(億円)

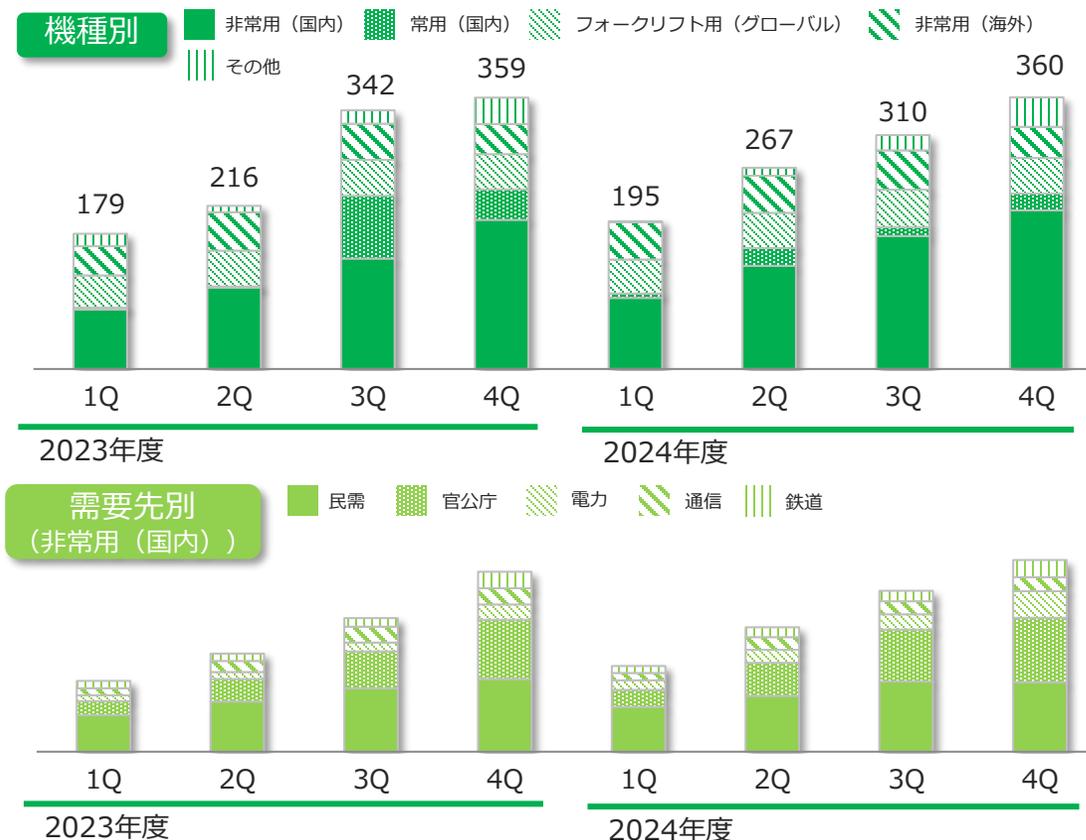


### 増減益要因 (前年比: 1-3月)

数量・構成変化	+11	非常用の案件増加
売価	+6	売価見直しにより増加
原材料価格	△6	円安・インフレによる原材料価格の上昇
経費等	△2	

機種別・需要先別 (非常用 (国内)) 売上高推移

(億円)



### 前四半期からの変化点

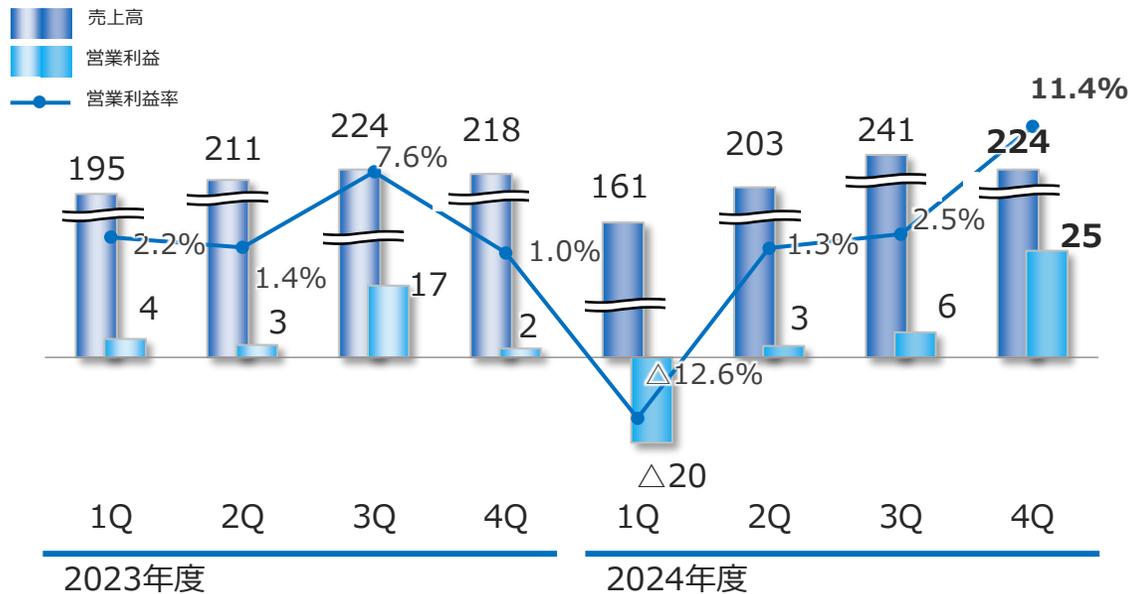
- 常用は来期納入案件の前倒しもあり売上高は増加
- 非常用は官公庁・電力向けなどの季節要因により売上高は増加

# 参考資料. セグメント別業績 (車載用リチウムイオン電池 / 3か月情報)

## 車載用リチウムイオン電池

## 増収増益

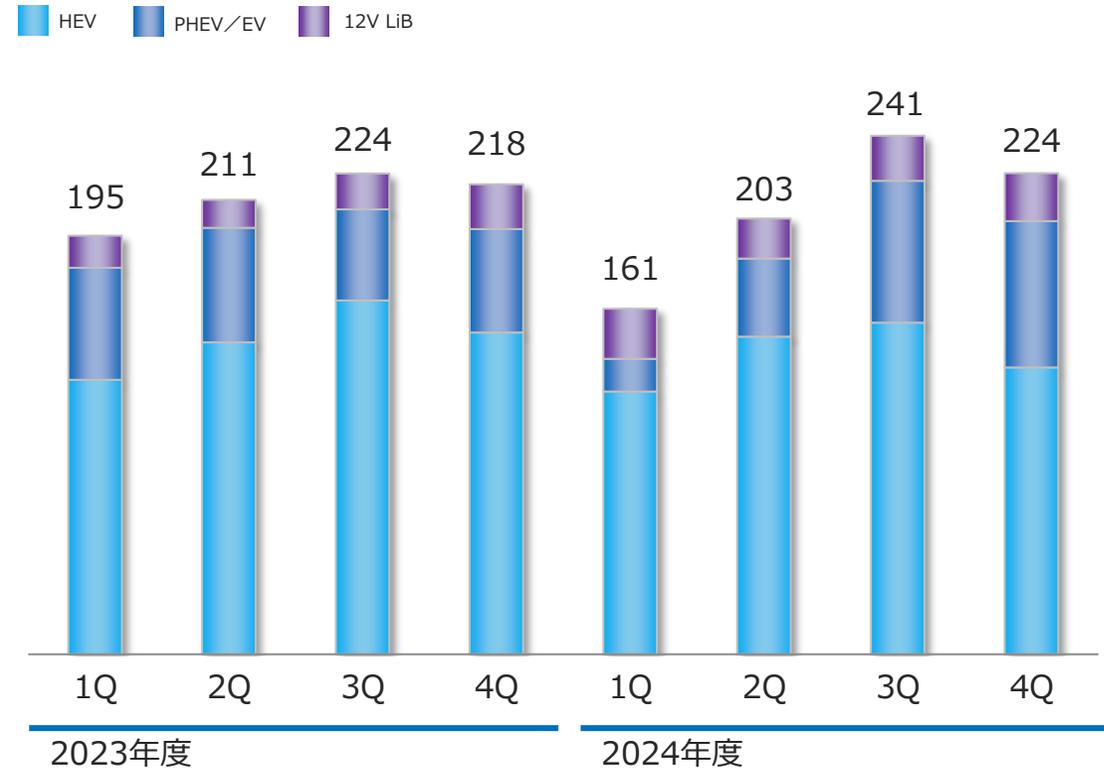
売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)



### 増減益要因 (前年比: 1-3月)

数量・構成変化	+13	HEV用の販売数量の減少はあったものの、PHEV・ESS用の数量増加とそれに伴う操業度の改善影響
売価	△12	リチウム市況下落に伴う売価低下
原材料価格	+8	リチウム市況下落に伴う改善
経費等	+14	物量減に伴う求償、経費減など

HEV・PHEV/ EV・12V LiB 売上高推移 (億円)



### 前四半期からの変化点

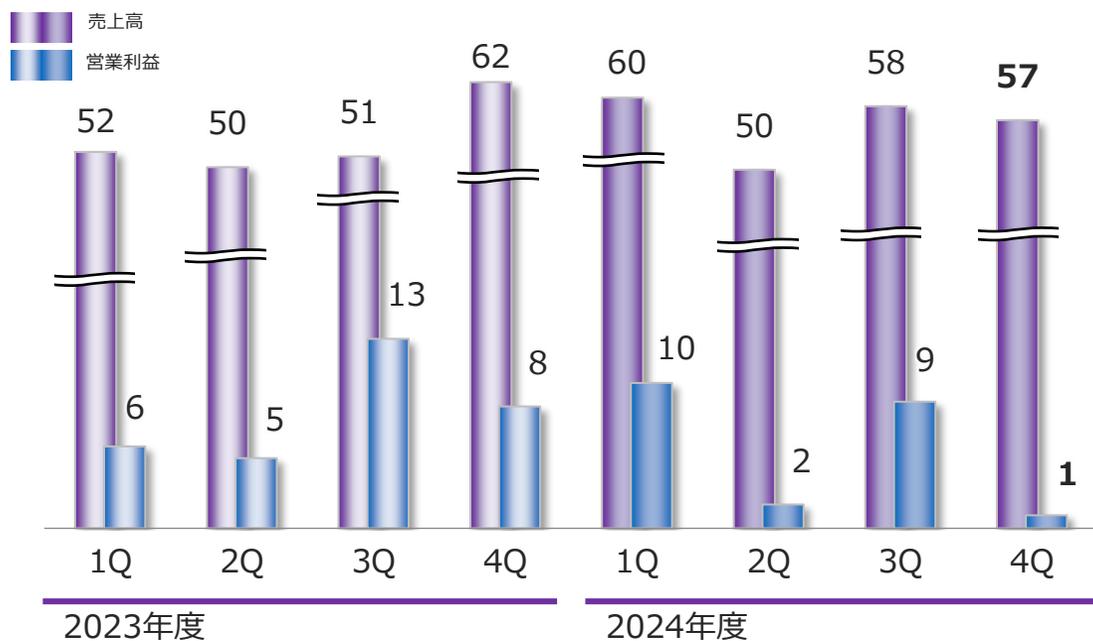
- HEV向けは販売数量減に加え、売価低下もあり売上高は減少
- PHEV向けは新規納入車種の販売増もあり売上高は若干増加
- 新車メーカーへの求償などにより利益は大きく増加

# 参考資料. セグメント別業績 (特殊電池およびその他 / 3か月情報)

## 特殊電池およびその他

## 減収減益

売上高・営業利益 (3か月) (億円)



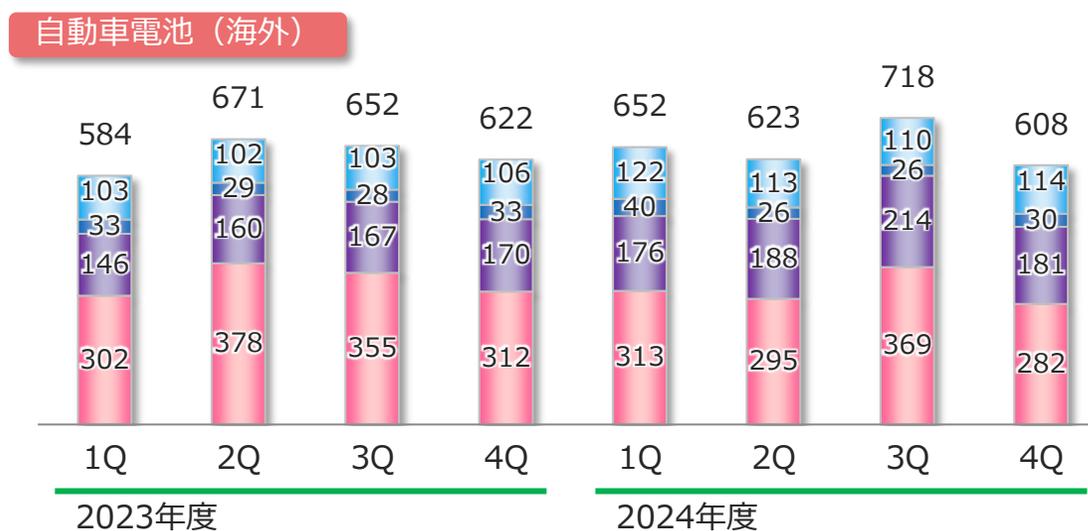
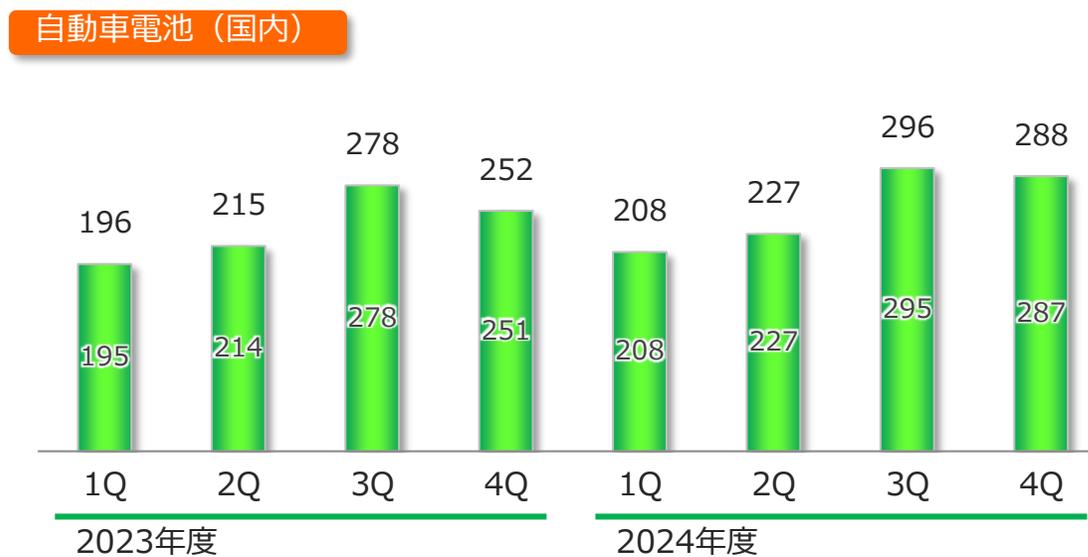
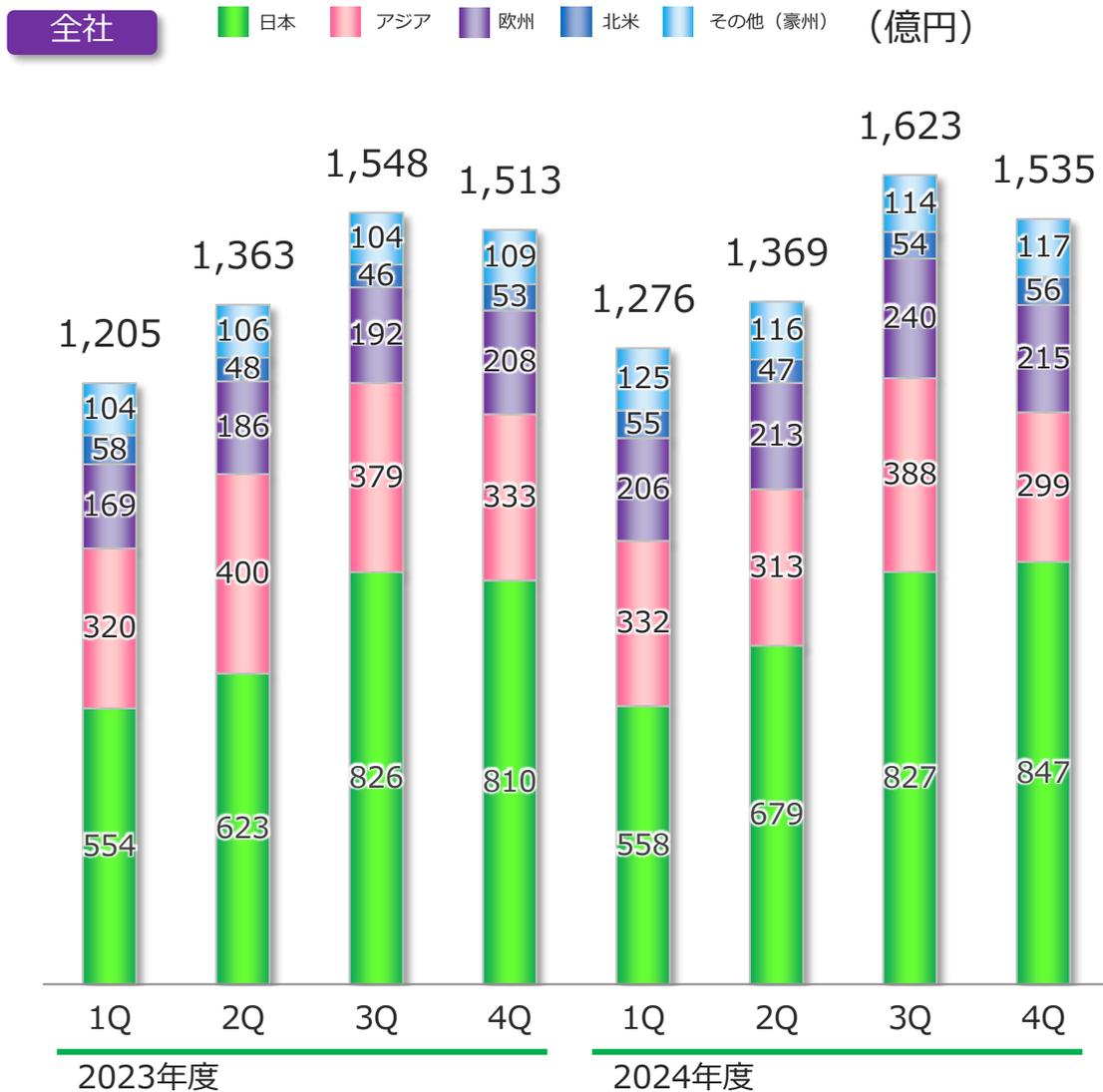
増減益要因 (前年比: 1-3月)

潜水艦用リチウムイオン電池などの契約単価見直しがあったものの、管理部門の経費・研究開発費増加により減益

前四半期からの変化点

- ▶ 潜水艦用は引き続き堅調に推移
- ▶ 航空機用は新設が減少も、エアライン（補修）向けが増加
- ▶ 期末にかけて経費・研究開発費が増えたため利益が大きく減少

# 参考資料. 全社・セグメント別地域別売上高推移 (3か月情報)



(注) 数値は主な地域のものになります。

# 参考資料. 全社・セグメント別地域別売上高推移 (3か月情報)

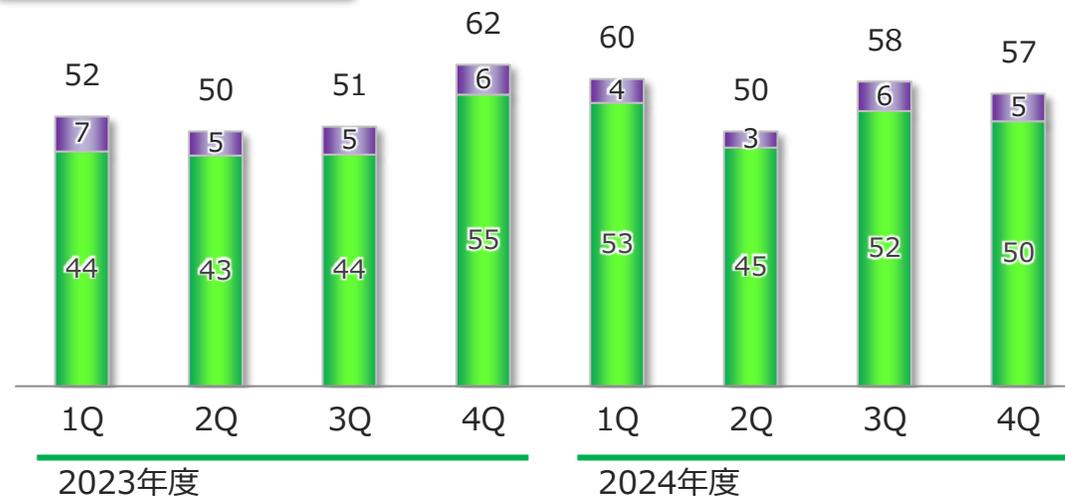


## 産業電池電源

■ 日本 ■ アジア ■ 欧州 ■ 北米 ■ その他(豪州) (億円)



## 特殊電池およびその他



## 車載用リチウムイオン電池



(注) 数値は主な地域のものになります。